毎日のミサ

2026年11月26日（木）ー28日（土）

11月26日 ― 木 ― 週日・緑

朝 年間第三十四木曜日（偶数年） 祈 年間週日㉔

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（詩編96・1、3）

神に向かって喜び歌え。
すべての国に神の栄光を語り、
すべての民に、その不思議なわざをのべ伝えよ。

集会祈願

すべてを治められる父よ、み旨に従って生きる人に、あなたは神の国の喜びを備えてくださいます。あなたからいただくすべてのものが、救いのみわざの完成に役立つものとなりますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（黙示録18・1―2、21―23、19・1―3、9a）

大バビロンが倒れた

ヨハネの黙示

わたし〔ヨハネ〕は、大きな権威を持っている別の天使が、天から降って来るのを見た。地上はその栄光によって輝いた。天使は力強い声で叫んだ。

「倒れた。大バビロンが倒れた。

そして、そこは悪霊どもの住みか、

あらゆる汚れた霊の巣窟、
あらゆる汚れた鳥の巣窟、
あらゆる汚れた忌まわしい獣の巣窟となった。」
すると、ある力強い天使が、大きいひき臼のような石を取り上げ、それを海に投げ込んで、こう言った。
「大いなる都、バビロンは、
このように荒々しく投げ出され、
もはや決して見られない。
竪琴を弾く者の奏でる音、歌をうたう者の声、
笛を吹く者やラッパを鳴らす者の楽の音は、
もはや決してお前のうちには聞かれない。
あらゆる技術を身に着けた者たちもだれ一人、
もはや決してお前のうちには見られない。
ひき臼の音もまた、
もはや決してお前のうちには聞かれない。
ともし火の明かりも、
もはや決してお前のうちには輝かない。
花婿や花嫁の声も、
もはや決してお前のうちには聞かれない。
なぜなら、お前の商人たちが
　地上の権力者となったからであり、
また、お前の魔術によって
　すべての国の民が惑わされ〔たからである。〕」
その後、わたしは、大群衆の大声のようなものが、天でこう言うのを聞いた。
「ハレルヤ。
救いと栄光と力とは、わたしたちの神のもの。
その裁きは真実で正しいからである。
みだらな行いで
地上を堕落させたあの大淫婦を裁き、
御自分の僕たちの流した血の復讐を、
彼女になさったからである。」
また、こうも言った。
「ハレルヤ。↖

大淫婦が焼かれる煙は、
世々限りなく立ち上る。」

それから天使はわたしに、「書き記せ。小羊の婚宴に招かれている者たちは幸いだ」と言〔った。〕

答唱詩編 典 172①② (詩編100・1+2、3ab)

答 わたしたちは神の民、そのまきばの群れ。

世界よ、神に喜びの声をあげ、
歓呼の歌をささげつつ、
み前に進み、
神に仕えよ。 答

神こそ
主であると悟れ。
神はわたしたちを造られた。 答

アレルヤ唱 ア 562⑤ (ルカ21・28)、または 典 274⑥

アレルヤ、アレルヤ。恐れずに頭を上げなさい。
あなたがたの救いは近づいている。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (ルカ21・20—28)

異邦人の時代が完了するまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされる

ルカによる福音

〔そのとき、イエスは弟子たちに言われた。〕
「エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。都の中にいる人々は、そこから立ち退きなさい。田舎にいる人々は都に入ってはならない。書かれていることがことごとく実現する報復の日だからである。それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ女は不幸だ。この地には大きな苦しみがあり、この民に

は神の怒りが下るからである。人々は剣の刃に倒れ、捕虜となってあらゆる国に連れて行かれる。異邦人の時代が完了するまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされる。

それから、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂うので、諸国の民は、なすすべを知らず、不安に陥る。人々は、この世界に何が起こるのかとおびえ、恐ろしさのあまり気を失うだろう。天体が揺り動かされるからである。そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の時が近いからだ。」

奉納祈願

万物を治められる神よ、あなたの栄光をたたえて供えものをささげます。わたしたちがまことの礼拝をささげ、永遠のしあわせにあずかることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱　年間週日一―六（115―117ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（黙示録21・5、6参照）

見よ、わたしはすべてを新しくする。わたしはアルファであり、オメガである。渇く者にはいのちの泉から飲ませる。

拝領祈願

救いの源である神よ、今受けた恵みを深く味わわせてください。秘跡のしるしによって示される救いが、わたしたちのうちに実現しますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11月27日 金 ——週日・緑

朗 年間第三十四金曜日（偶数年） 祈 年間週日㉒

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（詩編50・3、4）

神は来られる。
天と地を呼び寄せ、民を裁かれる。

集会祈願

全能の神よ、あなたの支配に逆らう悪の力を滅ぼしてください。罪から解放されたわたしたちがあなたの国を待ち望み、正義を行う者となることができますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（黙示録20・1―4、11～21・2）

彼らは自分の行いに応じて裁かれた。わたしは、新しいエルサレムが、天から下って来るのを見た

ヨハネの黙示

わたし〔ヨハネは、〕一人の天使が、底なしの淵の鍵と大きな鎖とを手にして、天から降って来るのを見た。この天使は、悪魔でもサタンでもある、年を経たあの蛇、つまり竜を取り押さえ、千年の間縛っておき、底なしの淵に投げ入れ、鍵をかけ、その上に封印を施して、千年が終わるまで、もうそれ以上、諸国の民を惑わさないようにした。その後で、竜はしばらくの間、解放されるはずである。

わたしはまた、多くの座を見た。その上には座っている者たちがおり、彼らには裁くことが許されていた。わたしはまた、イエスの証しと神の言葉のために、首をはねられた者たちの魂を見た。この者たちは、あの獣もその像も拝まず、額や手

に獣の刻印を受けなかった。彼らは生き返って、キリストと共に千年の間統治した。

わたしはまた、大きな白い玉座と、そこに座っておられる方とを見た。天も地も、その御前から逃げて行き、行方が分からなくなった。わたしはまた、死者たちが、大きな者も小さな者も、玉座の前に立っているのを見た。幾つかの書物が開かれたが、もう一つの書物も開かれた。それは命の書である。死者たちは、これらの書物に書かれていることに基づき、彼らの行いに応じて裁かれた。海は、その中にいた死者を外に出した。死と陰府も、その中にいた死者を出し、彼らはそれぞれ自分の行いに応じて裁かれた。死も陰府も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。その名が命の書に記されていない者は、火の池に投げ込まれた。

わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た。

答唱詩編　典 102 ①②（詩編84・2＋3、4）

答　しあわせな人、神をおそれ、主の道を歩む者。

すべてを治められる神よ、
あなたの住まいはうるわしい。
わたしの魂は主の庭を慕い、
心とからだは生ける神にあこがれる。　答

万軍の主、わたしたちの神よ、
あなたの祭壇のきわに、
すずめさえすみかを見つけ、
つばめも巣を作ってひなをそだてる。　答

アレルヤ唱 ア 562 ⑥（ルカ21・28）、または典 274 ⑥

アレルヤ、アレルヤ。恐れずに頭を上げなさい。あなたがたの救いは近づいている。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ21・29―33）

これらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていると悟りなさい

ルカによる福音

〔そのとき、イエスは弟子たちに〕たとえを話された。「いちじくの木や、ほかのすべての木を見なさい。葉が出始めると、それを見て、既に夏の近づいたことがおのずと分かる。それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていると悟りなさい。はっきり言っておく。すべてのことが起こるまでは、この時代は決して滅びない。天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」

奉納祈願

全能の神よ、わたしたちの祈りに耳を傾け、この供えものを受け入れてください。あなたをたたえて一人ひとりのささげるものが、すべての人の救いに役立つものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 年間週日一―六（115―117ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（マタイ25・34）

わたしの父に祝福された人たちよ、世の初めから、あなたがたのために備えられた国を継ぎなさい。

拝領祈願

神よ、救いの秘跡の力によってわたしたちを悪への傾きから解放し、正しい行いに導いてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アー

メン。

11月28日 土 ——週日・緑

朗 年間第三十四土曜日（偶数年） 祈 年間週日㉔
〈または祈 聖母の土曜日〉

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（詩編96・1、3）

神に向かって喜び歌え。
すべての国に神の栄光を語り、
すべての民に、その不思議なわざをのべ伝えよ。

集会祈願

すべてを治められる父よ、み旨に従って生きる人に、あなたは神の国の喜びを備えてくださいます。
あなたからいただくすべてのものが、救いのみわざの完成に役立つものとなりますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（黙示録22・1―7）

もはや夜はない。主が僕たちを照らすからである

ヨハネの黙示

天使は、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたし〔ヨハネ〕に見せた。川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみのらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。もはや、呪われるものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあって、神の僕たちは神を礼拝し、御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。もはや、夜はなく、ともし火の

光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らし、彼らは世々限りなく統治するからである。

そして、天使はわたしにこう言った。「これらの言葉は、信頼でき、また真実である。預言者たちの霊感の神、主が、その天使を送って、すぐにも起こるはずのことを、御自分の僕たちに示されたのである。見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである。」

答唱詩編 典 35①④（詩編95・1＋2、7＋8）

答 神に向かって喜び歌い、
感謝の歌をささげよう。

神に向かって喜びうたい、
救いの岩に声をあげよう。
感謝に満ちてみ前に進み、
楽の音に合わせ神をたたえよう。 答

神は、わたしたちの神。
わたしたちは神の民、そのまきばのひつじ。
きょう、神の声を聞くなら、
神に心を閉じてはならない。 答

アレルヤ唱 ア 562⑦（ルカ［巻末］）…には典 274⑤

アレルヤ、アレルヤ。目ざめていつも祈っていなさい、人の子の前にふさわしく立つことができるように。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ21・34―36）

目を覚ましていなさい。起ころうとしているこれらすべてのことから逃れるために

ルカによる福音

〔そのとき、イエスは弟子たちに言われた。〕
「放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい。さもないと、その日が不意に罠のようにあなたがたを襲うことになる。その

日は、地の表のあらゆる所に住む人々すべてに襲いかかるからである。しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈りなさい。」

奉納祈願

万物を治められる神よ、あなたの栄光をたたえて供えものをささげます。わたしたちがまことの礼拝をささげ、永遠のしあわせにあずかることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱　年間週日一―六（115―117ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（黙示録21・5、6参照）

見よ、わたしはすべてを新しくする。わたしはアルファであり、オメガである。渇く者にはいのちの泉から飲ませる。

拝領祈願

救いの源である神よ、今受けた恵みを深く味わわせてください。秘跡のしるしによって示される救いが、わたしたちのうちに実現しますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

十字架の血によってすべてに平和をもたらして、あらゆるものの上にあげられ、従うすべての者に永遠の救いをお与えになります。
神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりなくほめ歌います。

年間週日　二

聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストによって賛美と感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。
あなたは人を愛によって造り、正義に背いて罰せられた民を、あわれみにより主キリストを通してあがなってくださいました。
神の栄光をたたえ、権能を敬うすべての天使はともに喜び祝い、わたしたちもこれに合わせてつつしんでたたえます。

年間週日　三

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。
あなたはみことばである御子によって人を造り、御子の死と復活を通して、新しい人としてくださいました。造られたすべてのものはあなたを賛美し、あがなわれた民は喜びにあふれ、救いのわざをたたえています。
わたしたちもすべての天使、聖人とともに、あなたの栄光を仰ぎ、感謝の賛歌をささげます。

年間週日　四

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによって心からあなたをたたえ、感謝をささげます。
キリストの死を思うとき、愛は深められ、復活の信仰はわたしたちを支え、主の来臨の約束はわたしたちを希望で満たします。
あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、

声を合わせて賛美の歌を歌います。

年間週日　五（第二奉献文の叙唱）

聖なる父よ、最愛の子イエス・キリストを通して、いつどこでもあなたに感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはみことばによってすべてをお造りになりました。みことばである御子は、救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、み旨を果たして、人々をあなたの民とするために、手を広げて苦難に身をゆだね、死を滅ぼして復活をお知らせになりました。

わたしたちは声を合わせて歌います、天使とすべての聖人とともに、あなたの栄光をたたえて。

年間週日　六（第四奉献文の叙唱）

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、すべてを越えて光り輝くかた。あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものも、ともにあなたをたたえて歌います。

聖人

聖なる父、全能永遠の神、聖人を通して示されたあなたの栄光をたたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは聖人たちの信仰のあかしによって、いつも教会に新しい力を注ぎ、限りない愛を示してくださいます。わたしたちもその模範に励まされ、取り次ぎの祈りに支えられ、信仰の歩みを続けま

す。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、喜びのうちに賛美の歌を歌います。

殉教者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。

聖〇〇〇〇はあなたの恵みに強められ、いのちをささげて御子キリストをあかしました。弱い人間の中にあなたの偉大な力が示され、十字架の道を行く者の中に、人の知恵をはるかに越えるあなたの愛が輝き出ます。

み前で栄光をたたえる天使の声に合わせ、ここに集うわたしたちも感謝の賛歌を歌います。

牧者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえ、心から感謝をささげます。

あなたは聖〇〇〇〇の信仰の模範によってわたしたちを励まし、その教えを通して導き、取り次ぎによって神の民を守られます。

あなたをたたえる天使と聖人の歌に声を合わせ、わたしたちも終わりなく感謝の賛歌を歌います。

ニケア・コンスタンチノープル信条

わたしは信じます。唯一の神、全能の父、
天と地、見えるもの、見えないもの、
　すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、
すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、
　まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、
（以下、「人となられました」まで一同は礼をする）
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となられました。
ポンティオ・ピラトのもとで、
　わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、
天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は、生者（せいしゃ）と死者を裁くために
　栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。
　主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の
　教会を信じます。
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

使徒信条

天地の創造主、
全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主
イエス・キリストを信じます。

（以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする）

主は聖霊によってやどり、
おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、
陰府（よみ）に下り、
三日目に死者のうちから復活し、
天に昇って、
全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいじゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、
聖なる普遍の教会、
聖徒の交わり、
罪のゆるし、
からだの復活、
永遠のいのちを信じます。
アーメン。

二〇〇四年二月十八日
日本カトリック司教協議会認可

二〇〇四年二月の司教総会で口語訳に改訂された「ニケア・コンスタンチノープル信条」と、一部改訂された「使徒信条」です。ミサの信仰宣言には、この二つの信条が用いられるべきとされています。

氏名